

奈良教育大学 教職大学院 学修成果発表会（学位研究報告書発表会）

教職大学院修了予定者（現職教員院生9名，学部卒院生11名）が
教職大学院での学修成果の発表を行います。

学校関係の皆様，教職大学院の学びに関心をお持ちの方々のご参加を
心よりお待ちしております。

日時：2020年2月13日（木）13:00 - 17:00

場所：奈良教育大学 学生会館・山田ホール

時程：



時間	番号	題目
13:05~	A-1	中学校外国語科におけるデジタル教材の開発と評価—iPadを活用した授業づくり—
13:25~	A-2	書くことを通した自己省察を深める指導
13:45~	A-3	小学校外国語活動における構成的グループエンカウンターを試み—他者理解を高めることを目指して—

番号	題目
B-1	児童の行動変容と学校適応感の向上を目指した教育実践—PBISの取組を中心に—
B-2	小学校の通常学級において支援が必要な児童が居心地のよさを感じる取組の考察—「集団づくり」および「見る力」の視点から—
B-3	思春期における発達障害と二次障害への教育的対応—自閉スペクトラム症（ASD）がある生徒の事例を中心に—

14:15~	A-4	初等教育におけるタブレットを使った授業効果について—学習履歴を活かした対話的な学びを目指して—
14:35~	A-5	「社会的な見方・考え方」を育てる授業の研究
14:55~	A-6	中学校数学科における『対話的な学び』を育むための授業の在り方

B-4	小学校におけるユニバーサルデザインの視点を活用した授業づくりと実践の考察
B-5	児童の実行機能の発達を促す教育実践の検討
B-6	中学生の不登校に関する一考察—社会科授業の取り組みを通して—

15:25~	A-7	高等学校地理歴史科における学習指導方法の工夫に関する研究—生徒間の伝えあう力を高める授業づくりを通じて—
15:45~	A-8	主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成—WTCを高める外国語活動—
16:05~	A-9	小学校英語教育におけるブレンディッド・ラーニングの枠組みの提案—児童のコミュニケーション能力の効果的な育成を目指して—
16:25~	A-10	自己調整学習の理論に基づいた算数学習プログラムの開発とその効果—児童の苦手な単元に着目して—

B-7	中学校数学科の授業における図書の利用—中学校1年生比例・反比例の実践から—
B-8	高校地理歴史科におけるICTを活用した授業づくり—ICTがもたらす豊富な情報に着目して—
B-9	進路実現を目指す中学校別室支援の在り方
B-10	高等学校における観点別学習状況の評価についての研究—パフォーマンス課題を用いた授業及び評価の改善—

発表形式： 口頭発表



- ◆ 奈良教育大学教職大学院入学希望者，本学学部生等，どなたでもご参加可能です。
- ◆ 途中入室・退室も可能です。
- ◆ 事前のお申し込みは不要です。
- ◆ お問い合わせ先：kawasaki@nara-edu.ac.jp（河崎）